

別紙

事業評価報告書

1. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	開始・完了 年月日	総事業費	うち基金充当額	備考
1	市道補修事業	柏崎市	令和元年6月11日 ～ 令和2年2月28日	30,786,900	30,000,000	
2	健康管理センター整備事業	柏崎市	平成31年4月1日 ～ 令和元年11月27日	78,805,200	30,000,000	総事業費 (2か年) 119,815,200

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所				
1	市道補修事業	柏崎市	柏崎市ゆりが丘地内ほか4か所				
基金事業の概要		<p>柏崎市内の側溝補修及び舗装補修工事（令和元年度修繕件数5件）。地域住民からの要望や道路パトロールにより、計画的に柏崎市内全域の生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高めるため、老朽化の進んだ道路側溝を更新し、吸出しによる路面陥没の防止や、排水不良による水溜りの解消を図ります。また、傷んだ舗装を補修することにより、道路交通の安全性の確保を図ります。</p>					
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>基金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・前期基本計画（平成29年度～令和3年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する</p> <p>目標：修繕件数 5件(令和元年度)</p>					
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度			
事業期間の設定理由		地域住民からの要望や道路パトロールにより毎年更新するため。					
基金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和元年度	
		修繕件数 5件	修繕完了件数	成果実績	件	5	
				目標値	件	5	
				達成度	%	100.0%	
		評価年度の設定理由					
		毎年度のPDCAサイクルによる業務改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
基金事業の定性的な成果及び評価等							
<p>令和元年度の柏崎市の補修工事は、側溝補修工事5件(施工延長L=437m)、舗装補修工事3件(施工面積A=2,629㎡)の計8件の補修工事を行いました。その内、本交付金の活用により、柏崎市ゆりが丘地内ほか3箇所の側溝補修工事4件(施工延長L=374m)、舗装補修工事1件(施工面積A=1,120㎡)の計画していた修繕工事合計5件を完了することができました。施工箇所については、適切な工事設計及び適正な施工管理を行い、計画した工事を滞り無く実施したことで、沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高め、道路交通の安全性を確保することができました。引き続き、計画的な事業実施に努めます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度			
	側溝修繕延長	活動実績	m	396	374			
		活動見込	m	396	374			
		達成度	%	100.0	100.0			
	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度			
	舗装修繕面積	活動実績	m ²	2,200	1,120			
活動見込		m ²	2,200	1,120				
達成度		%	100.0	100.0				
基金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	年度	年度	年度	備考		
総事業費	32,500,440	30,786,900						
基金充当額	28,000,000	30,000,000						
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	28,000,000	30,000,000						
基金事業の契約の概要								
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額					
市道柏崎8-185号線舗装補修工事	指名競争入札	(株)日本海舗道	5,116,100					
市道柏崎7-131号線側溝補修工事	一般競争入札	小林工業(株)	9,562,300					
市道柏崎9-19号線側溝補修工事	一般競争入札	(株)藤林建設	3,768,120					
市道柏崎2-86号線側溝補修工事	一般競争入札	(有)関川建材	3,592,080					
市道柏崎3-49号線側溝補修工事	一般競争入札	角田建設(株)	8,748,300					
基金事業の担当課室	都市整備部道路維持課							
基金事業の評価課室	都市整備部道路維持課							

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所					
2	健康管理センター整備事業	柏崎市	柏崎市栄町					
基金事業の概要	<p>健康管理センター機械設備改修工事。 柏崎市健康管理センターは、市の中心部の海岸近くに昭和58年に建設された、市民の健康管理を総合的に行う施設です。建設から36年が経過し、老朽化が進んでいる機械設備（空調・換気・衛生・給水・給湯設備）の改修を行い、安定した施設運営と快適な利用環境を確保します。</p>							
基金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>基金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・前期基本計画（平成29年度～令和3年度） 第3章 健康・福祉～「健やかさ」をつなぐまちをめざして～ 第1節 「健やかな」心と体をはぐくむ 1 心と体の健康づくりを進める</p> <p>目標：健康増進計画推進事業、健康増進事業、がん検診事業、特定健康診査等実施事業、歯科保健事業、食育推進事業及び自殺予防対策事業の実施場所として安定した施設運営と快適な利用環境を確保する。 国民健康保険特定健診受診率 60.0%（令和3年度）</p>							
事業開始年度	平成30年度		事業終了（予定）年度		令和元年度			
事業期間の設定理由	工期の終期まで							
基金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和元年度			
	安定した施設運営と快適な利用環境を確保する。	—	成果実績		—			
			目標値		—			
			達成度		—			
	評価年度の設定理由							
	工期の終期							
	基金事業の定性的な成果及び評価等							
<p>本基金の活用により、施設の老朽化した機械設備（空調・換気・衛生・給水・給湯設備）を改修し、安定した施設運営と快適な利用環境を確保することができました。昨年度の特定健診受診率は51%と目標値には至りませんでした。支障なく通常どおりに健診を実施することができました。今後も各種健（検）診や健康相談等を行う保健衛生施設として活用し、市民の健康管理と健康づくりの推進に努めます。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	年度	年度	年度
	工事進捗率	活動実績	%	59	41			
		活動見込	%	59	41			
	達成度	%	100%	100				

基金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	年度	年度	年度	備考
総事業費	41,010,000	78,805,200				
基金充当額	30,000,000	30,000,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	30,000,000	30,000,000				
基金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額	
機械設備改修工事	一般競争入札		日新設備工業(株)		119,815,200	
基金事業の担当課室	福祉保健部健康推進課					
基金事業の評価課室	福祉保健部健康推進課					

別紙

事業評価報告書

1. 事業評価総括表

令和2年6月（単位：円）

番号	事業名	事業主体	開始・完了 年月日	総事業費	うち基金充当額	備考
1	産業文化会館管理運営事業	柏崎市	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	53,281,000	20,000,000	充当対象経費 23,727,618円

2. 事業評価個表

(単位：円)

番号	事業名	事業主体	基金事業実施場所					
1	産業文化会館管理運営事業	柏崎市	柏崎市駅前二丁目					
基金事業の概要	<p>産業文化会館の指定管理料12か月分。 産業文化会館の安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定しています。 これにより、「文化、芸術の発展に寄与する」「中小企業、観光等の産業振興に寄与する」「市民の文化活動を支援する」「市民の教養を高める」ことを目的とした産業文化会館管理運営事業を展開し、利用者数の増加を目指すとともに、産業の振興と市民生活の向上を図ります。</p>							
基金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>基金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・前期基本計画（平成29年度～令和3年度） 第2章 産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ 3 産業の創造性と技術力を高める 目標：利用者数93,800人（令和3年度）</p>							
事業開始年度	平成29年度		事業終了（予定）年度		令和3年度			
事業期間の設定理由	柏崎市第五次総合計画基本構想・前期基本計画の終期まで							
基金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度		
	産業文化会館利用者数 93,800人	産業文化会館利用者数	成果実績	人	64,882			
			目標値	人	93,800			
			達成度	%	69.2			
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	基金事業の定性的な成果及び評価等							
	本交付金の活用により、安定した管理運営を行うことができました。新型コロナウイルスによる入場者数の減少も影響し、成果目標には達しませんでした。指定管理者による主催公演9回（入場者数967人）、主催教室21講座（延べ人数575人）を実施したことにより、芸術・文化の発展に寄与したものと評価しています。次年度も引き続き、他団体と連携した主催・共催公演を計画し、これにあわせて会館の利便性を周知することで、利用者数の増加を図っていきます。							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
基金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年度	年度
	平常に運営できた日（開館日数）	活動実績	日	359	359	360		
		活動見込	日	359	359	360		
		達成度	%	100.0	100.0	100.0		

基金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年度	年度	備考
総事業費	53,079,000	53,079,000	53,281,000			
基金充当額	20,000,000	20,000,000	20,000,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	20,000,000	20,000,000	20,000,000			
基金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額	
管理運営業務委託	随意契約		(公財) かしわざき振興財団		53,281,000	
基金事業の担当課室	教育委員会文化・生涯学習課					
基金事業の評価課室	教育委員会文化・生涯学習課					